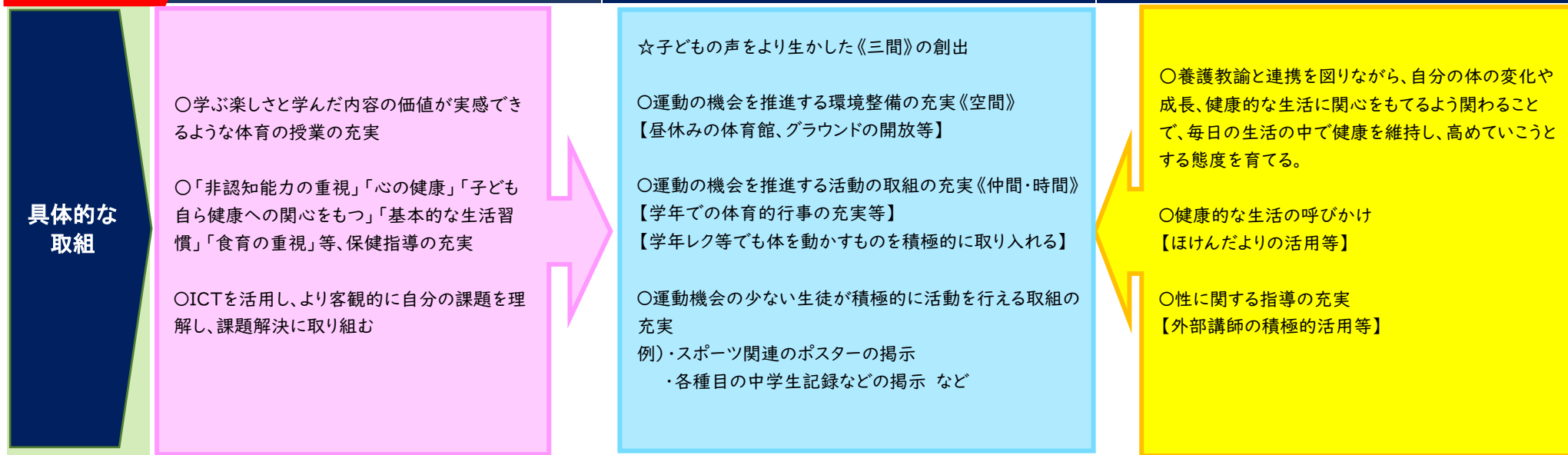


	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	全国平均、札幌市の平均よりも上回った項目 ・握力、上体起こし	全国平均、札幌市の平均よりも下回った項目 ・長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび	男子は、特に敏捷性・全身持久力に課題がある。ともにほぼ全ての運動で必要な力であるため、どの单元でも生徒がこの力を意識できるような活動を取り入れていきたい。
体力・運動能力 <女子>	全国平均よりも上回った項目 なし 札幌市の平均よりも上回った項目 ・上体起こし、50m走	全国平均、札幌市の平均よりも下回った項目 ・握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、ハンドボール投げ	女子は、全体的に体力値が低い傾向にある。ただ、進んで学習に参加している生徒は全国平均、札幌市平均より数値は高い。スポーツの楽しさを味わいながら、体力を高められるような授業や行事の場面設定を工夫して行いたい。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	運動やスポーツは好きですか 好き+やや好き 男88.3%、女74.5% 保健体育の授業は楽しいですか 楽しい+やや楽しい 男91.1%、女90.0%	タブレットなどのICTを使って学習することで、できるようになる 男57.3%、女53.3% 体力テストや体力・運動能力の向上に、自分なりの目標を立てている 男59.0%、女60.0%	男子も女子も運動が好きで生徒が多く、体育も楽しんでやっている事が分かる。一方、体育の授業内では、自己の動きを認識して調整することが苦手な生徒が多くいること、目標を立てずに学習に取り組む生徒が多いことが分かった。ICTの活用方法を考えること、活動に入る前に目標を立てることを大切にしていきたい。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
-------	-----------------	-----------------------	-----------------------



家庭・地域との連携・協働 家の人とスポーツを「する」ことだけでなく、一緒に「見る」ことや「話す」ことも運動時間と関連していることから、体育的行事の充実を図り、学校だより、学年だよりを通して情報提供していく。

